allcinema

タイロン・パワー

Tyrone Power

生年月日 1914/05/05
出身地 アメリカ／オハイオ州シンシナティ
没年 1958/11/15
関連人物 アナベラ（元妻）
タイロン・パワー・Ｊｒ（息子）
タイロン・パワー・Ｓｒ（父）
タリン・パワー（次女）
リンダ・クリスチャン（元妻）
ロミナ・パワー（長女）

【バイオグラフィ】

■本名はTyrone Edmond Power。舞台俳優だった父の影響で１０代の頃からシカゴのシェイクスピア劇団に参加。やがて父の後を追ってハリウッドに向かう。その父は３１年に急死したが以降もＬＡに残って下積み生活を送る。その後ＮＹに渡りブロードウェイで代役などを務めていた時にＦＯＸにスカウトされ、テストは落ちたものの見込まれて３６年に本格デビュー。「勝鬨」の好演で若手スターとして認められた。やがて「スエズ」や「世紀の楽団」などのヒットによってマネー・ランキングにも名を連ねるようになり、アクション・スターとして大活躍。３９年には映画雑誌で“ハリウッド・キング”と称されるなど、二枚目スターの地位を確立した。４０年代に一時タイプ・キャストを嫌って舞台で新境地を開こうとした事もあったがその後も「海の征服者」や「征服への道」などに出演。（戦後進駐軍の兵士として日本に上陸。銀座四丁目の交差点で交通整理をしたことがあるとか。）５０年代に入るとさすがにトップ・スターの地位はペックなどに奪われたが中年の渋みも加わり「愛情物語」などで好演。５７年の「情婦」で演技派としても再評価された。結婚は３回で最初の妻はアナベラ。リンダ・クリスチャンとの間にロミナとタリ、三人目の妻の間に生まれたジュニアはそれぞれ俳優になった。５８年「ソロモンとシバの女王」撮影中に心臓発作で急死。彼の役はユル・ブリンナーに替わって製作された。

【フィルモグラフィ】

月の出の脱走（1957）	ナレーター
情婦（1957）	出演 :レナード・ヴォール
陽はまた昇る（1957）	出演 :ジェイク・バーンズ
二十七人の漂流者（1956）	出演 :アレック・ホームズ
愛情物語（1956）	出演 :エディ・デューチン
野性の女（1955）	出演 :ポール・ヴァン・リーベック
長い灰色の線（1955）	出演 :マーティ・マー
壮烈カイバー銃隊（1953）	出演 :アラン・キング
ミシシッピの賭博師（1953）	出演 :マイク・ファロン
荒野の襲撃（1952）	出演 :ダンカン・マクドナルド
国務省の密使（1952）	出演 :マイク・ケルズ
狙われた駅馬車（1951）	出演
黒ばら（1950）	出演
アメリカン・ゲリラ・イン・フィリピン（1950）	出演
狐の王子（1949）	出演
幸福の森（1948）	出演 :スティーヴン・フィッツジェラルド

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

征服への道（1947）	出演 :ペドロ・デ・バルガス
悪魔の往く町（1947）	出演
剃刀の刃（1946）	出演 :ラリー・ダレル
潜航決戦隊（1943）	出演 :ウォード・スチュワート中尉
純愛の誓い（1942）	出演
海の征服者（1942）	出演 :ジェイミー・ウェアリング
激闘（1942）	出演
血と砂（1941）	出演
英空軍のアメリカ人（1941）	出演
地獄への逆襲（1940）	出演
快傑ゾロ（1940）	出演 :ディエゴ
地獄への道（1939）	出演
雨ぞ降る（1939）	出演
ワシントン広場の薔薇（1939）	出演
銀嶺のスタア（1939）	出演
マリー・アントアネットの生涯（1938）	出演
スエズ（1938）	出演
世紀の楽団（1938）	出演
恋は特ダネ（1937）	出演
氷上乱舞（1937）	出演
シカゴ（1937）	出演
四つの恋愛（1936）	出演
勝鬨（1936）	出演
お姫様大行進（1934）	出演
鉄血士官校（1932）	出演

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.